

北区新年賀詞交歓会で区長表明

今年の主要課題は学校給食の完全無償化実施



写真:年頭挨拶する区長(北区HPより)

花川区長は 1/4 の賀詞交歓会での年頭の挨拶の中で、昨年の北区政の取り組み、基本計画や基本構想で取り組む北区政の現況を述べた上で、今年の主要課題の一端として、北区の区立小中学校における学校給食費の完全無償化を実施することを発表しました。

区民は 2016 年に提出した陳状が自公の継続審査の主張で採択されなくても、粘り強く運動を続けて、全会派の要求に変え、実現したともいえます。私たち日本共産党北区議員団も議会で繰り返し実現を求めて(右欄参照)きました。

昨年 12/19 の申し入れでは 4 月実施に大いに期待しましたが、1/4 東京新聞は、四月実施に前向きな区に北区を分類せず、がっかり。その日の発表で 4 月実施でしたから感慨もひとしおでした。(本田正則)



●ご相談はお気軽に
090-9240-8066

学校給食無償化の日本共産党北区議員団の取り組みを振り返る

2016年9月文教子ども委員会「北区立小中学校第3子以降の給食費無料化を求める陳情」共産・社民は採択、自民・公明は継続 結果継続審査

2017年3月共産、新年度予算案に「学校給食無償化、第3子からスタート」含む予算組み替え動議を提案。自民・公明など与党会派多数で否決

2018年3月共産、新年度予算案に予算組み替え動議で、「学校給食無償化へ段階的に第3子からスタート」を提案。自民・公明など与党会派多数で否決

2019年2月やまき直人区議(当時)代表質問で、「学校給食無料化」要求。

2019年9月北区「第2子は半額、第3子以降は無料」の方針表明

2020年10月給食費の負担軽減実施

2021年3月新年度予算組み替え動議、「第1子からの給食費負担軽減」、自民、公明などにより否決

2022年9月野口まさと区議代表質問で、葛飾区が完全無償化表明受け、北区「給食費補助のさらなる拡充」国や東京都に完全無償化要望

2022年12月19日「学校給食費の無償化」など5項目要請

区長に申し入れる北区議員団→



日本共産党 北区議員 会議員 本田正則 区政レポート

No. 319号2023.01.04

日本共産党北区議員団
〒114-8508 北区王子本町 1-15-22

まちづくりは駅前開発のオンパレード

まちづくりの分野では、①十条駅西口市街地再開発事業に続けて②赤羽駅西口、③赤羽駅東口、④王子駅周辺まちづくりと新庁舎建設、飛鳥山公園の Park-PFI 制度導入、さらに⑤東十条駅の南口を中心に進めることを示しました。「まちづくり基金」の取崩はまだ十条だけですが、全部の事業規模は大変巨額なものになります。始まる前のチェックが大切です。

田端駅から高台へのバリアフリールートのエレベーターの設置工事実施、浮間地域のコミュニティバスの試験運行実施もあげました。

タワマン誘致ばかりで良いのか



北区では、駅前にタワーマンションを呼び込む開発計画が目白押しです。①十条駅西口再開発で地上 39 階 146m578 戸、②赤羽駅西口では学校跡地と UR 用地の一体活用で、29 階 95m553 戸の民間マンション誘致が示され済みです。③赤羽東では第一地区で地上 26 階 110m300 戸第二第三地区は未定、④王子駅周辺、⑤東十条駅は計画策定中ですがここにもタワマンとなると、まさに駅前にはタワマンばかりになります。



十条駅西口



赤羽駅西口

また福祉の経費削減圧力が高まるのでは？

十条駅西口の現在の事業規模は 445 億円と示されています。そのうち北区の独自負担が 203 億円。赤羽駅西口は区有地を民間マンションに売却でしたが、赤羽東口は再開発ですから、3 地区あわせるとかなりの金額。これに王子や東十条でも「まちづくり基金」活用となると相当な基金の積み増しにつながり、その財源確保のために福祉の経費削減になりかねません。



賀詞交歓会の区長年頭の挨拶から見た新年度の目玉事業

①**学校給食費**は毎年約 11 億円。現在の給食費支援（第二子半額、第三子以降無料）より約 7 億円ほど北区の支出は増えます。あと金額的に大きいのが、②**十条駅西口開発** ③**一体型小中一貫校の新築経費ですが**、②の十条の再開発は「まちづくり基金」③の一貫校は「学校改築基金」活用事業です。新年度財調基金の取崩は 7 億円プラス@ではないでしょうか？ 例外の年はありましたが、例年財調基金を 30~40 億円程度取り崩して新規事業を始めても、年度末には財調基金は元に戻っていました。1月 2月の運動で、補聴器助成や、生活支援の強化など日本共産党北区議員団も頑張ります。運動強めましょう。

大軍拡・大增税、異次元の子育て支援と大增税、医療や介護の国民負担増



●**東京都は18才までの子ども一人月々5000円。給食費も月約5000円。**

子育て世帯には子ども一人月 1 万円の支援になる。助かると言われました。

●新しい戦前にさせない

「ミサイルが飛んできたらどうする」「ミサイルがあれば飛んでこない?」「ミサイルを先に撃てば、中国なら反撃してくるのでは?」

タモリさんは黒柳徹子さんとの対談番組で、『新しい戦前になるかもしれない』と言いました。新しい戦前にならないように頑張ります。

●ASEANやコスタリカは、平和を拡げる活動で紛争を防いでいます。

東南アジアは発展中。人口は6億7千万人。日本の貿易相手国、第1位中22.9%ですが、第2位はASEAN14.9%、第3位米14.1%。

●侵略したロシアが悪い。でもNATOとロシアのブロック対立がなければ侵略は防げたのでは？問題はブロック対立の解消では？

●**広島・長崎・福島を経験したから核廃絶。3/10の下町、4/13の城北、5/25の山の手、それにゲルニカ、ロンドン他都市爆撃を経験して非戦闘員殺戮禁止なのでは？**

改めて、被害と加害の戦争体験を見つめましょう。『愛を込めて』

北区の空襲被害ご確認ください、北区史(図書館で)や総務省HPの

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kanto_16.html

●W杯で対戦したコスタリカも、ドイツ・スペイン・クロアチアも消費税減税。

すでに世界90カ国です。